

Yamaha News

ヤマハニュース 1994 No. 366
FEBRUARY

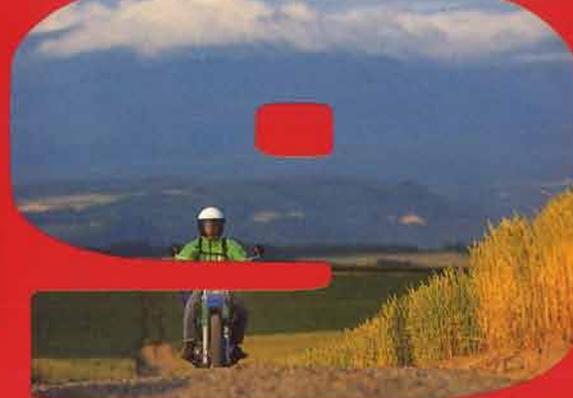
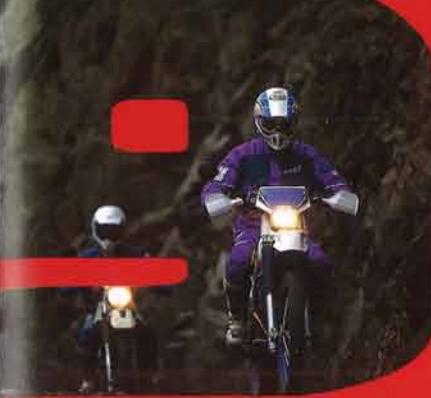
2月号



表紙写真は2月発売の専門誌広告と連動しています。

特集●1994年みんなで越えよう、課題のハードル!!

生き抜くための10の視点



特集 1994年みんなで越えよう課題のハードル

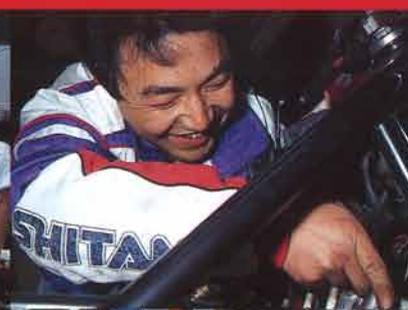
政治改革法案の成否、米国からの市場開放要請、農作物の凶作対応、不況の脱出……山積された国家レベルの課題を前に、細川政権は苦戦を強いられているようですが、私たちが籍を置く二輪業界も、'94年は課題対応の年となりそうです。

認証工場にヤング人口の減少、スタッフの雇用問題に廃車の処理、さらには安全運転指導、著減する二輪車のブーム感etc. 並べてみれば国の課題以上にその項目はありそうですが、これらのハードルを越えることは、とりも直さず「お客さま満足度」を向上させ、

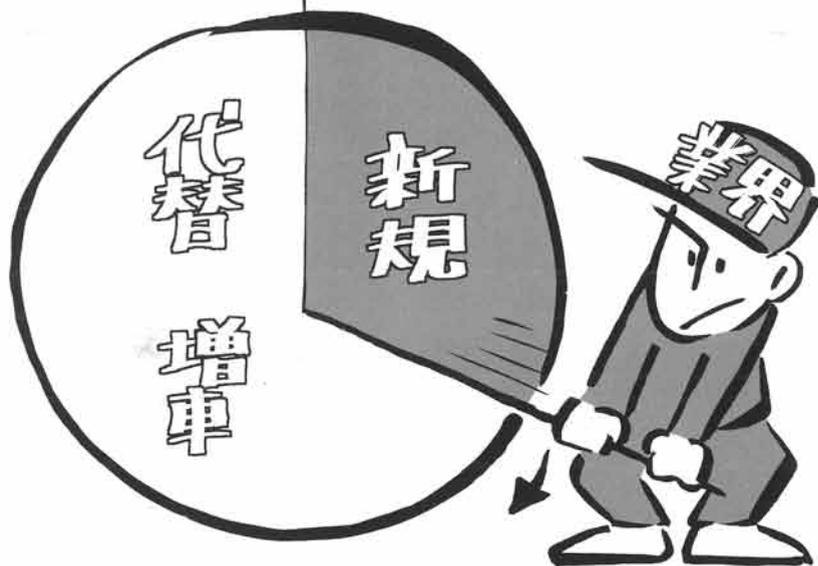
生き抜くための10の視点

健全な市場を築くための活動。

'94年ヤマハニュースの第1号は、二輪車販売店を取り巻く数々の課題の中から、主なものの現状を抽出してみました。今後ヤマハニュースは、これらのひとつつ



どうする**需要の低迷** どうなる**新規参入層**



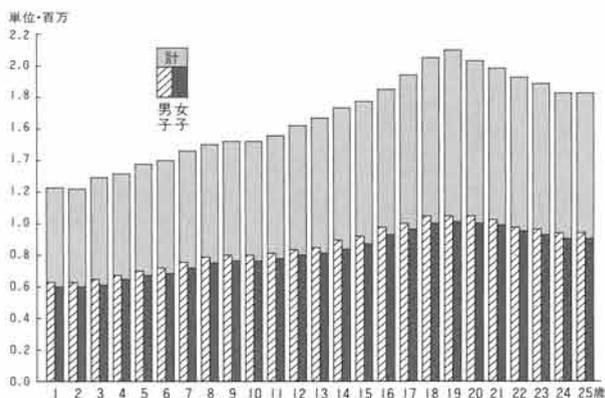
業界が一丸となって取り組むべき課題が総需要の回復。とにかくここ数年、全体需要は漸減を続け、今年の予測は100万台といったところか。また、そんな中にあってもうひとつ気がかりなのが新規参入層の減少。10年前の需

要形態では、新車購入者全体の4割強が新規層であったのに対し、現在は3割。ヤング人口の減少や二輪車をカッコ良く見せるヒーロー（ライダーやマシン）不在を原因とする声もあるが、とにかくブーム再燃への期待は高い。



ひとつについては販売店のみなさんと一緒に考え、できればもっとも効果的な対応についてのヒントや回答を出していきたいと思っています。
今年も1年、よろしくお願いいたします。

●年齢別青少年人口



第2次ベビーブームに生まれた団塊ジュニアたちも今年で20歳、1月15日には成人式を迎えた。大きな需要層と期待が持たれた5年前には「イチ」世代と呼ばれた彼らも、新成人として社会に進出したわけだ。
この大きな波が通り過ぎた後は、免許年齢に達する人口が極端に減り始める。よって新免許取得者の減少も避けられない事実と言えそう。

段階的に減少する若い世代の人口



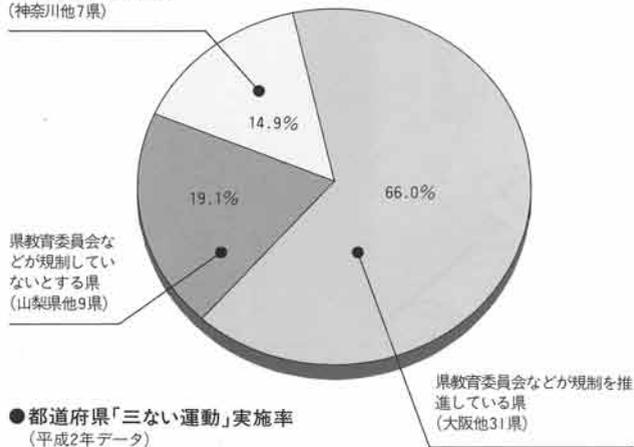
「三ながわ新運動」のその後

全国的に「三ながわ新運動」が根強く定着しているなかで「四プラス」ない運動を展開していた神奈川県は指導方針を転換し、「三ながわ新運動」をスタートさせて丸2年。指導して乗せる神奈川県式の結果が国際交通安全学会から発表された。

そのなかで、運動の効果を評価するには時期尚早と前置きしながら、次のような長所をあげている。

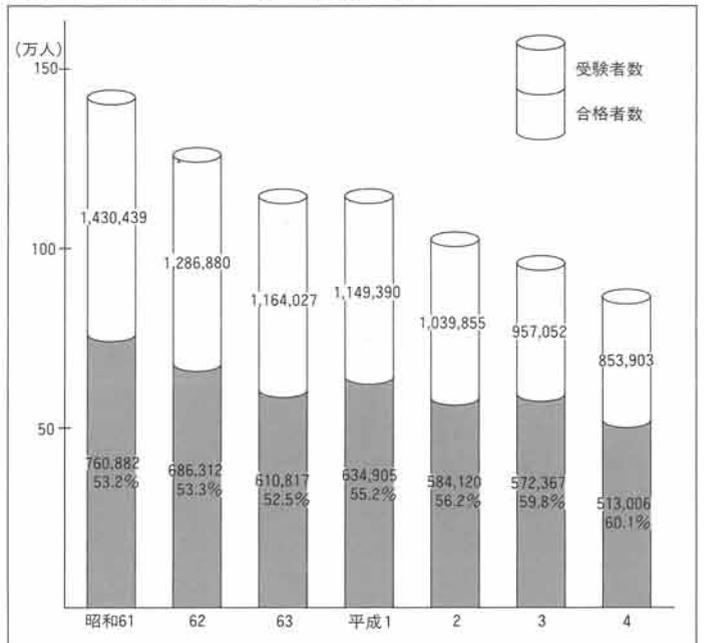
- 免許取得やバイク保有の実態把握が可能となり、実情に合わせた指導ができるようになった。
- 警察など地域社会と連携して実技講習が行なえ、ライディングスクールへの参加が増えた。
- 「三ながわ新運動」を推進している他都道府県でも神奈川県式は注目しており、今後の動向に注目したい。

免許取得や通学許可校が過半数を超えると見られる県(神奈川県7県)



●都道府県「三ながわ新運動」実施率 (平成2年データ)

●原付運転免許試験受験者・合格者数の推移



「原付講習」義務化で免許取得者が減る?

人口の減少とともに、新規エントリー層の推移に影響をおよぼしそうなのが、原付免許取得時に義務付けられた「原付講習」。昭和47年から実施されていた原付安全技能講習が義務化され、平成4年11月からスタートしている。講習は基本操作、基本走行、応用走行および安全運転の知識に関するもので、所用時間は3時間。運転免許試験に合格しても、これを受講しないと免許証は与えられない。何かと忙しい若者から聞こえる「わずらわしい」という声をどう払拭するか!

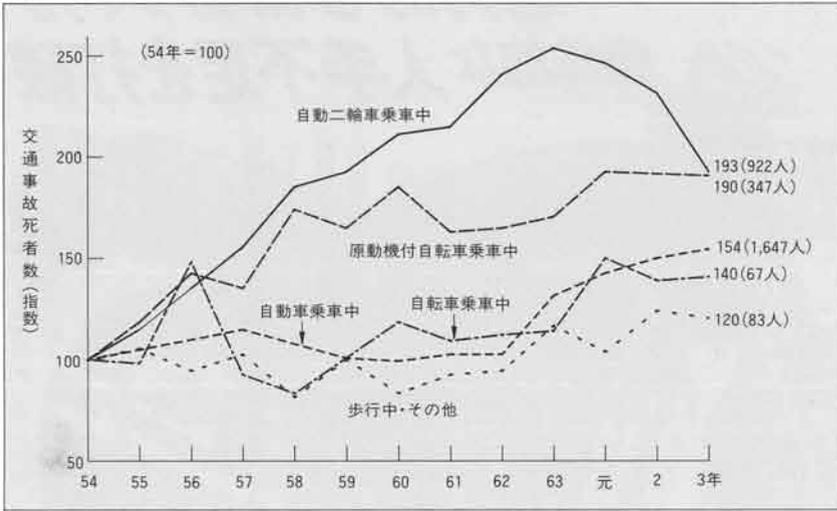
ハード/ソフトの両面からさまざまな対策が図られているにもかかわらず、一向に減らないバイクの盗難。平成3年の届出件数は26万6000件と、10年間で約70%の異常な増加をみせている(二普協調べ)。

この数字が「バイクは盗まれる」というイメージをつくり二輪車離れの要因になっているばかりか、バイク窃盗犯の約98%が中学生という現状から「バイクが少年非行を助長させている」との誤解まで生んでしまった。



「盗難増加」が生む二輪車離れそしてイメージダウン

●青少年(16~24歳)の状態別・交通事故死者数の推移



二輪車の死亡事故が減少傾向に転換したのは、バイクの日が制定された平成元年。国や地方公共団体、警察、その他関係団体による事故防止キャンペーンはもちろん、安全運転講習会のバックアップなどが数字となって表れてきたと言える。

ただし16~24歳の二輪車事故死者数は全体の42.2%と大きな割合を占めている他、原付事故による死者数もわずかながら増えている。一概に「減った」とは言えないのが現状だ。我々の「安全」への取り組みはまだまだ大きなテーマとなっている。

二輪車死亡事故減少でも 減らない「若者」と「原付」

一方「参加するモータースポーツ」も、わずかながら減少傾向にある。93年のMFJライセンス所有者は合計で10万5030人、前年比で6.7%のダウンとなっている。

しかし94年は全国的なネイキッドレースやスーパーバイカーズ、GP80など比較的ランニングコストのからさないクラスの開催が多数予定されており、新規参入者が増えるものと予想できる。時代に適応したレースの広がり、再びレース界が活気づく?

注目のネイキッドレース いよいよ全国で本格開催!!

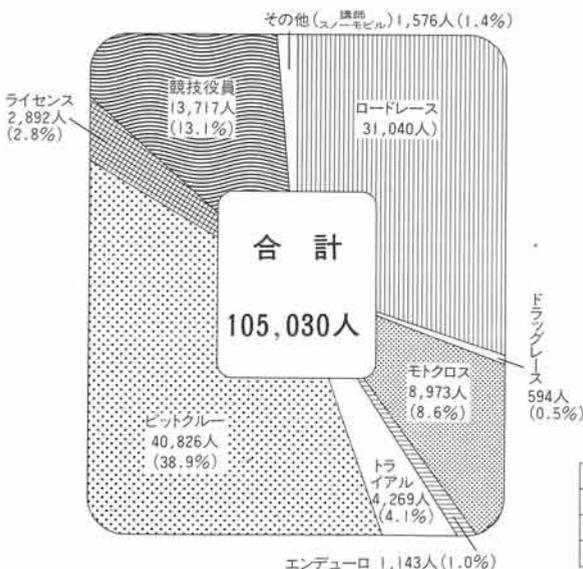


モータースポーツ熱 安定人気に移行?

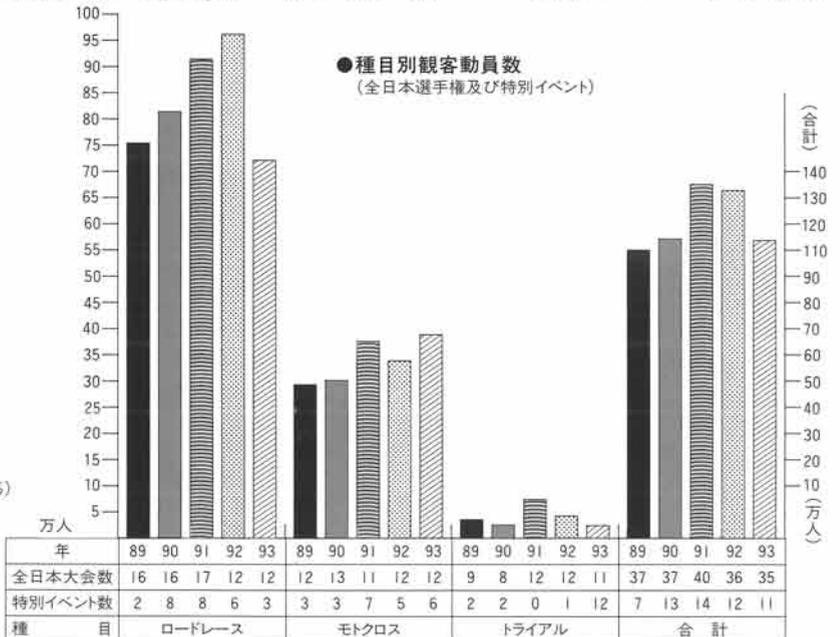
'93シーズンに国内で開催された全日本選手権シリーズと、世界選手権を含む特別イベントの観客動員数は、合計112万7043人。過去最高を記録した91年から2年連続のダウンとなった。種目別ではロードレースが対前年比23.9%減と、大きく落ち込んでいる。

しかし、85年に初めて100万人を突破してから9年連続で大台をキープしており、モーターサイクルスポーツ熱はいまや安定人気を保っている。またスーパーバイクの動員増加などからモトクロスが過去最高の数字を記録、オフロードブームを裏付けている。

●'93年MFJ会員ライセンス別人数



●種目別観客動員数 (全日本選手権及び特別イベント)



年	89	90	91	92	93
全日本大会数	16	16	17	12	12
特別イベント数	2	8	8	6	3
種目	ロードレース	モトクロス	トライアル	合計	

魅力ある職場づくりが 慢性的な人手不足を打破

●週所定労働時間階級別労働者数の割合の推移

	合計	時間分 40:00 以下	40:01 — 42:00	42:01 — 43:59	44:00 — 44:59	44:01 — 44:59	45:00 — 47:59	48:00 — 48:59	48:01 以上	労働者一人 平均週所定 労働時間
1975	100.0	41.7	18.1	7.0	5.1	11.3	11.3	16.2	0.7	42:08
1985	100.0	48.0	14.9	6.3	4.2	1.4	9.1	16.2	—	41:45
1987	100.0	48.6	14.1	6.6	5.7	1.0	8.7	15.3	—	41:42
1988	100.0	50.7	14.3	6.2	4.9	1.3	9.9	12.7	—	41:28
1989	100.0	54.1	13.4	5.6	5.3	1.1	9.6	11.0	—	41:12
1990	100.0	58.7	11.9	5.2	6.9	1.0	9.3	7.1	—	40:47
1991	100.0	62.6	12.9	4.3	8.8	0.7	9.5	1.2	—	40:16

二輪業界が抱える慢性的な雇用問題。その根底に流れるのは「好きで選んだ職業、多少条件が悪くても……」という労使相方の甘えによるもの。こうした不透明な部分が、のちの高い離職率につながっている。生活の糧としての職業選択は、一社会人にとって一生の問題。賃金、就労時間、その他福利厚生面の整備は今後の事業展開には欠かせない要素となるだろう。また、技能資格の取得など、従業員自身のスキルアップも重要な課題となってきそうだ。



二輪販売店が認証工場を取得するには、現在、下記の項目について定められた各基準をクリアする必要があります。

- 「人」整備作業に従事する従業員等の人に関する基準
- 「場所」整備作業場を行うための場所と車両保管の場所に関する基準
- 「設備」分解整備作業を行うための常備すべき工具、機器の基準

1. 整備士の基準

検査主任者を含めた分解整備に従事する人員のうちには、一定の整備士を保有していなければならない事になっております。

整備作業に従事する従業員	自動車整備士有資格者
2～4人まで	2名以上
5～8人まで	2名以上

整備士とは自動車整備技術検定規則に基づく一級、二級または三級整備士試験に合格したものをいいます。

※検査主任者の資格 2級整備士

2. 場所の基準(小二・軽自動車)

	間口	奥行き	面積
車両整備作業場	3.5m以上	5.0m以上	= 17.5㎡以上
部品整備作業場	6.5㎡以上		= 6.5㎡以上
点検作業場	3.5m以上	5.0m以上	= 17.5㎡以上
車両置き場	2.5m以上	3.5m以上	= 8.75㎡以上
(同一敷地内屋外は問わず)	合計		50.25㎡以上
	作業場の高さ		2.5㎡以上
	(入り口の高さ)		

3. 設備の基準

認証取得に必要な設備機器は 1) 対自動車の種類 2) 業務範囲の限定により変わってきます。詳しくは営業所及びサービス担当者におたずねください。

分解整備とは
<ul style="list-style-type: none"> ●エンジンを取り外して行う整備 ●クラッチ、ミッション等動力伝達装置を取り外して行う整備 ●フロントフォークを取り外して行う整備 ●ブレーキ関連部分を取り外して行う整備 ●クッション関連部分を取り外して行う整備 等々、ほとんどの整備作業は分解整備に該当する事となります。

スポーツ車種に
あつて当然の
認証工場

国内のスポーツバイク需要が堅調に推移し、'93年の小型二輪(251cc以上の新車販売台数は、13万台を上回り前年より約5%の伸びと推定される。こうした動向からも「自動車分解整備事業」いわゆる「認証工場」の資格取得は、今後の二輪車販売店にとって必須条件。車検のある二輪車の分解整備に関しては、認証工場の資格が必要。資格基準緩和のウワサはあるが、具体的なめどは何も明確になっておらず、現状の基準をクリアし、資格を取得することも現実的な対応。





ディーブバイオレットメタリック1

爽快！新色が仲間入り

XJR400

¥579,000 2月20日発売

空冷クラス最速を目標に造り込まれた卓越の走り、先進のネイキッドデザインで好評を博す“XJR400”のカラーバリエーションを一部変更します。

深みのある色調のベリーダークバイオレットカクテル2に代えて、躍動的なニューカラー“ディーブバイオレットメタリック1”を設定。鮮やかなバイオレットが、XJR400のファイティングスピリット溢れる外観を、さらに引き立てます。

なお、好評の“ディーブレッドカクテル2”“ブラック2”の2色は従来通りです。

XV250ビラーゴの主な変更点

■シーシーバー標準装備

新たにシーシーバーを標準装備しました。タンデムライダーの乗り心地向上を図るとともに、アメリカンテイストモデルにふさわしい外観を一層強化しています。

■小型レンズの採用

小型ウインカーレンズ、小型テールライトを新たに採用して、スリム感を強調した外観処理を行いました。

■メーターまわりのデザイン変更

従来ハンドルクラウン内蔵式であったパイロットランプについては、メーター内蔵式に変更してデザインの一新を図りました。あわせてハンドルクラウンはフラット加工を施すとともにバフクリア仕上げを行い、質感の向上を図りました。

■ステップ位置の変更

ステップ位置について見直しを図りました。従来比較で後方向に約3cm、下方向に約1.5cm移動して設定。乗り易く、疲れにくく、そして快適なライディングポジションとなっています。

■フロントブレーキに異径2ポットキャリパー設定

フロントブレーキには新たに異径2ポットキャリパーを採用。またディスクローターについてもニュータイプを採用しています。



レッドスパークル/フラットハンドル仕様

さらに際立つアメリカンテイスト

XV250^{ビラーゴ}virago

¥459,000

2月4日発売



ウルシブラック/ブルバックハンドル仕様

昨今のアメリカンブームの中にあって、軽二輪唯一の空冷Vツインエンジン搭載車として人気を集める“XV250ビラーゴ”が、さらに商品性を高めるマイナーチェンジを受けました。また、これにともないカラーリングも一新。ハード、ソフトの両面からより一層の熟成が図られています。

真正フラッグシップ誕生

先の東京モーターショーで話題を独占した、あの「XJR1200」が満を持してデビュー。モーターサイクルの歴史に、新たな一頁を築こうとしています。開発にあたってのキーワードは「ワイルド&ダイナミック・パフォーマンス」。その心臓部には新開発の国内ネイキッド最大排気量を誇る1200cc空冷4サイクルDOHC並列4気筒4バルブエンジンを搭載し、その強靱な足回りとともに従来の空冷概念を超えた卓越の走りを実現。マッパで力強いデザインと相まって、フラッグシップと呼ぶにふさわしい高い商品性を身につけての登場です。

XJR1200

¥899,000

3月4日新発売



ニューシルバードスト

SPECIFICATIONS

●全長1615mm ●全幅615mm ●全高960mm ●シート高670mm ●軸間距離1095mm ●乾燥重量78kg ●舗装平坦路燃費73km/ℓ(30km/h) ●エンジン水冷・2サイクル・クランク室リードバルブ・単気筒・49cc ●内径×行程40.0×39.7 ●圧縮比7.5:1 ●最高出力7.2ps/10000rpm ●最大トルク0.63kg-m/7,500rpm ●始動方式セル式 ●燃料タンク容量9.3ℓ ●変速機形式常時噛合式前進6段 ●タイヤサイズ100/90-12(前)120/80-12(後) ●ブレーキ形式油圧式シングルディスク(前)油圧式シングルディスク(後) ●懸架方式テレスコピック(前)スイングアーム(モノクロス)(後)

ラジカルホワイト/ビビッドレッドカクテル1



TZM50Rの主な特徴

■エンジン関係■

- 新作シリンダー投入、フィーリングに優れた水冷2サイクルエンジン
基本ユニットは「TZR50R」や「YZ80」に採用のエンジンと同型の水冷・2サイクル・クランク室リードバルブ・49cc単気筒エンジンを採用。ポート形状最適化を図った新作シリンダー採用、CDIユニットの特性変更などの効果が相まって、最高出力7.2ps/10,000rpm、最大トルク0.63kg-m/7,500rpmを絞り出し、とくに中～高速域での加速フィーリングの向上を主眼に一層のポテンシャルアップを達成しました。
- Φ18mm大径キャブレターの採用
Φ18mm大径V Mキャブレターの採用と、排気通路にストレートにつながる位置に設けた吸気通路の設定、吸気とシリンダーのはさみ角の最適設定などとのコンビネーションで、優れた特性を実現しています。
- 新設計マフラーの採用
エキパイ・サイレンサー部一体構造の大容量マフラーとして、中高速特性を向上させたニューエンジンの特性をより強調しています。サイレンサー部はステンレス巻き仕上げとして、質感を強調しました。
- 小型フラットタイプの新設計Y.E.I.S.の採用
吸気ポートの開閉により生じる圧力差を吸収して混合気流速のスムーズ化を図り、低中速域のキャブレション安定化と燃費向上を図ります。
- 体感振動を低減させる一次バランス
偶力の発生が少ない両振りタイプの一次バランスを採用。エンジンの振動を低減し、優れた乗り心地を実現しました。
- 大容量ラジエターの採用
性能を安定して引き出すために、ウォーターポンプについては125ccクラス並みの容量を設定、ラジエターは「TZ50」と同サイズのコア幅220mm×148mmで放熱量6,900kcal/hの大容量を設定しています。
- 強化クラッチの採用
クラッチ容量については、フリクションプレートを「TZR50R」の3枚プレートから4枚プレートへ変更し、キャパシティを向上。
- 利便性を高めるセルフスターター
始動の容易なセルフスターターを装備し、利便性を高めています。
- マイコン制御8ビット・C.D.I.点火方式
回転全域で、エンジン回転に対して最適な点火タイミングを検出・演算し、最適点火特性を実現しました。

■車体関係■

- 高剛性新設計フレーム
高い剛性をもつ新設計の高張力鋼管ダイヤモンドフレームを採用しました。メインパイプ部は50×20mm(「YSR50」は40×25mm)として高剛性化を達成。「YSR50」比較で1.5倍の高剛性を実現。優れた操安性に寄与しています。
- 新作アルミアウターチューブ採用Φ30mmフロントフォーク
Φ30mmインナーチューブを採用して高剛性化を図るとともに、新作アルミアウターチューブの採用でバネ下重量を低減。優れたサスペンション性能を達成しています。
- ビルシュタインタイプのガス封入リアサスペンション
リアのモノクロスサスペンションには、ビルシュタインタイプとガス封入オイルダンパーを設定。熱たれを最小限に押え、安定したサスペンション性能を発揮します。ホイールトラベルは81mmです。
- Φ203mmディスクと2ポットキャリパー装着フロントブレーキ
フロントにはΦ203mm外径のディスクローターと2ポットキャリパーを設定して強力なストッピングパワーを確保。リアには制動力とコントロール性のベストバランスを追求してΦ161mm外径の小径ローターを設定しています。またリアブレーキのマスターシリンダーにはフレミング製を装着しています。
- 新作アルミ中空キャストホイール
前後ホイールは新設計中空3本スポークタイプのキャストホイールを採用。これにフロント100/90-12インチ、リア120/80-12インチのチューブレスタイヤを装着しています。
- 自由度の広いライディングポジションの設定
「TZR250R」を彷彿させるスポーツ性を強調したシートを採用。前後長230mm、左右幅最大で245mmを確保し、乗車中のヒップポジション変更の自由度を拡大。ライディングポジションの自由度を向上させています。なお、左右ステップおよびブラケット類にはアルミ製パーツを投入して軽量化と質感アップを図っています。
- その他の親切設計
この他、30W/30Wのヘッドライト、9.3L大容量燃料タンク、「XJR400」と同タイプの盗難防止機構付メインスイッチの採用など、通常走行での利便性に直結するフィーチャーを盛り込んでいます。

XJR1200の主な特徴

■エンジン関係■

■低中速トルク、加速性能に優れた空冷エンジン

国内外で高い支持を得ているロングセラー「FJ1200」のパワーユニットの優れた基本性能をベースに、吸排気系のオールニュー設計により、イメージを一新するエンジンキャラクターを誕生させました。空冷バラ4にありがちな低中速トルクの軟弱イメージを払拭、従来の概念を超えた極太の低中速トルク、そして強力な加速性能などを達成し、ダイナミックかつコントロールラブルな特性を具現化しています。

■TPS付BS36mmキャブレターの採用

ボディ部（及び通路形状）を改良したφ36mmのBSキャブレターを採用。これにTPS（スロットルポジションセンサー）を装着し、エンジン回転数、スロットル角度、スロットル操作変位をパラメーター検出し、点火時期特性の3次元マップによるコントロールを行ない、優れたキャブレションを達成しました。

さらに新作大容量エアリーナー、新作スロットルブリーナーなど吸気系全般のニューフェイスの相乗効果で、スロットルのリニア感、レスポンス感の向上を図っています。

■4-1-2マフラーの使用

排気脈動効果を最大限活用しながら優れた性能を確保する新設計マフラーを装着しています。

■新設計カムカバー、新設計シリンダーフィンの採用

1.2ℓにふさわしい存在感を強調しながら、優れた冷却効果を確認する新設計カムカバー、新設計シリンダーフィンを採用。クラス最大径φ42.7mmのエキパイの精悍さと相まって、空冷直立エンジンのダイナミック感を主張しています。

■絶妙なシフトフィーリングを達成した5速ミッション

トランスミッション、シフトフォーク、クラッチについては、各主要性能パーツを新作して優れた操作フィーリングを達成しています。

■大型オイルクーラーの設定

優れたエンジン特性を安定して引き出すために、「FJ1200」比較で1.4倍容量の大型オイルクーラーを標準装備。

■オーソゴナルエンジンマウント方式の採用

コンピューター解析を駆使したヤマハ独自のオーソゴナルエンジンマウント方式を採用し、回転全域での不快な体感振動の低減を図りました。エンジンストッパーの構造を変更、エンジン後方にリンクを設ける新方式とし、エンジンパワーのダイレクト感や駆動力感がライダーに心地良く伝わる設定としています。

■車体関係■

■新設計ツインチューブ・ダブルクレードルフレーム

フレームには高張力鋼管材を使用した新設計ツインチューブ・ダブルクレードルフレームを採用。メインパイプ部は外径38.1mm、厚さ2.0mmとして最適剛性値を確保しながら、フレームのしなり感や駆動感など、ライダーが必要とする情報量に富んだ特性としました。

■軽量高剛性アルミ角パイプリアアーム

リアアームには、90×40mmの大断面アルミ押し出し材を採用しました。アームエンドは、アルミ削り出し処理とし、リアアクスル通りの最適剛性バランスを達成しています。

■φ43mm大径フロントフォーク、オーリスリアサスペンションの採用

φ43mmインナーチューブ採用の大径フロントフォークを採用。リアのオーリスサスペンションは、コンベンショナルな2本タイプ。3段階でのイニシャル荷重調整機構を設定しています。オイル冷却性を向上させるサブタンク付きで、安定したサスペンション性能を発揮します。

■クラス唯一の前後17インチワイドリムの採用

このクラスで初の前後17インチワイドリムを設定しました。フロントには17×MT3.50、リアには17×MT5.50のアルミ中空リムを採用し、これにフロント130/70ZR17、リア170/60ZR17インチのワイドラジアルタイヤを装着しています。

■φ320大径ダブルディスクと4ポットキャリパー

フロントブレーキは大径320mmディスクローターをフローティングしてマウント。これと対向ピストン4ポットキャリパーを組み合わせ、強力な制動力とコントロール性を両立させました。リアブレーキにはφ267mmディスクローターに対向ピストンキャリパーを装着。キャリパーは下付きとし、フローティング風のトルクロッドを設けて精悍さを強調させています。

■アルミ素材パーツの採用

①ヘッドライトステー、②エンジンステー、③チェーンケース、④ペダル・ステップ類、⑤マフラーブラケット、⑥オイルクーラーカバー、⑦フットレストブラケットなどにアルミ材を使用。いずれもアルマイト処理により、クオリティ感を強調。グラブバーについてもアルミ材を使用し、この部分にはボディと同色の塗装を施しています。

■利便性を配慮した細部の設計

①フェルメーター、②ダブルホーン、③レバー調整機構付マスターシリンダー（ブレーキ/クラッチ）、④ハザードランプ、⑤荷掛けフック、⑥小型サイクルロックや週刊誌が入る収納スペースなどを採用し、利便性向上を図っています。

SPECIFICATIONS

●全長2170mm ●全幅765mm ●全高1120mm ●シート高790mm ●軸間距離1500mm ●乾燥重量232kg ●舗装平坦路燃費26km/ℓ (60km/h) ●エンジン空冷・4サイクル・DOHC・4バルブ・並列4気筒・1188cc ●内径×行程77.0mm×63.8mm ●圧縮比9.7:1 ●最高出力97ps/8,000rpm ●最大トルク9.3kg-m/6,000rpm ●始動方式セル式 ●燃料タンク容量21ℓ ●変速機形式常時噛合式前進5段 ●タイヤサイズ130/70ZR17(前)170/60ZR17(後) ●ブレーキ形式油圧式ダブルディスク(前)油圧式シングルディスク(後) ●懸架方式テレスコピック(前)スイングアーム(後)



ブラック2



ティープレッドカカテル2

TZM50R ROAD SPORTS

¥279,000

2月26日新発売

最速12インチスポーツ登場

原付12インチスポーツ市場の火付け役となったYSR50から7年、日常走行での走りの楽しさはもとより、MPにレースでの必勝パフォーマンスを備えた「TZM50R」の登場です。搭載するエンジンはTZR50Rで定評の水冷2サイクルクランク室リードバルブ吸気タイプに改良を加え、中高速度域での強力な加速感の具現化を達成しています。



ラジカルホワイト/ティープバイオレットメタリック1



TT250R

¥469,000

2月20日発売

TRAIL

よりアクティブな新色を追加

扱い易いエンジン特性と強靱な足回りで発売以降、軽二輪市場を席捲し続けるTT250Rに、そのアクティブな個性をより鮮烈に演出するニューカラー「パーブリッシュホワイトソリッド1/ビビッドマゼンタソリッド1」が加わります。



より豊かにオフロードシーンを演出
TT250R用アクセサリ&パーツ

レーシングスタンド

¥7,900(部品番号90793-55015)



好評発売中

ジャストサイズの専用設計で作業性を高め、また店頭ディスプレイ用としても活用できるよう、質感の高い外観としています。

●全高375mm●重量3.3kg●スチール製※サービストレイ付

シートスキン

¥7,800(部品番号90793-66177)



2月4日発売

バイオレットとシルバーのツートンカラーで、定評のTT250Rのスタイリングを一層アクティブに演出します。また上面には“シボ”加工を施し、グリップ感を高めました。

※製品はシートの表皮のみです。交換にはタッカー(針打ち機)を使用した張り替え作業が必要です(標準工賃1H)

ブレーキペダルセーバー

¥500(部品番号90793-66179)



2月4日発売

ブレーキペダルが障害物に当たった場合、外側へ曲がることを防止します。

※標準及びオプションのエンジンガードに適用

精悍ブラックフェイス

ギブソン
Gibson TT BLACK
¥35,800

- 規格：JIS-C種 MFJ公認
- サイズ：S、M、L

超軽量、高強度を誇るFLEX・FRPⅢ積層構造に加え、先進のベンチレーションシステムや着脱式ホホパッドなどの快適装備により人気を博すオフロード用ヘルメット“ギブソンTT”に、迫力の黒ベースが登場です。

オフロードファッションのニュートレンドとして、ぜひお客さまにおすすめください。



ブラック/レッド
(部品番号90791-3011)



ブラック/ホワイト
(部品番号90791-3010)

SCOOTER

春を彩る'94スクーター3機種

グリップエンドプラグやスライドキーキャップ付フューエルタンクキャップ、さらに斬新な大型グラフィックの採用などで好評の「スーパージョグZ」'94モデルに、よりスポーティーな新色2色が追加されます。これで'94モデルのカラーバリエーションは全5色、お客さまの好みに合わせた、より幅広い選択が可能になりました。



スターダストシルバー



ブラック2/ディーパーブルソリッド1

SUPER JOG-Z
(YG50Z)
¥159,000 2月20日発売



ダークグレイッシュアンメトリック1

JOGAprioEX (YJ50EX)
¥155,000 2月14日新発売

スクーターに対するお客さまの要望の声に、先進の技術で応えた「ジョグアプリオ」。昨年12月の発売以来、おかげさまで大好評を得ています。このジョグアプリオにフロントディスクブレーキを装着した「ジョグアプリオEX」をバリエーション追加。数かずの利便性に、より大きな安心感をプラスしました。



ブラック2



シルキーホワイト

JOG (CY50) ¥132,000 2月14日発売

優れたコストパフォーマンスで幅広い層から支持を得ている「ジョグ」も、グラフィックの変更に加え、スライドキーキャップ付フューエルタンクキャップを装備して登場です。



ベリーダークブルーカクテル3



ブラック2

ROAD SPORTS

斬新に変身！続々と登場'94スポーツモデル

ニューグラフィック採用と機能向上

TDM850 2月4日発売
¥790,000

ヨーロッパ感覚あふれるビックツインスポーツ「TDM850」は、ニューグラフィックの採用とともに、シフトフイーリングを大幅に向上させました。また、ヘルメットホルダーの位置変更やシート固定方式の変更により、使い勝手の向上も図っています。



ベリーダークバイオレットカクテル1

レプリカシリーズ

'94イメージカラーに揃って変身

先に発売され好評を博す「TZR250R・SP」に採用されるブラッシュアップのニューグラフィック&カラーを、レプリカモデル全車に採用。アグレッシブ&ダイナミックなニューイメージを、ぜひお客さまにご案内ください。

FZR400RR-SP

¥890,000 (国内限定500台) 2月4日発売



ブルーイッシュホワイトカクテル1

TZR50R

¥299,000 2月4日発売



ヤマハブラック

TZR125

¥349,000 2月10日発売



ブルーイッシュホワイトカクテル1



ラジカルホワイト



「ミスコースさえなければ本社まで完走も夢ではなかったはず」

実証！JOGアプリオの長い足
60kmで余裕の
280km無給油走破

より生活に密着した移動ツールとして、画期的な機能満載でデビューを飾った「JOGアプリオ」なかでも、従来モデル比70%増の6ℓ燃料タンクとマイコン制御デジタル点火方式採用のニューエンジンによって実現した大きな航続距離は、面倒な給油の手間を省く、アプリオならではの利点です。

そこで、50ccバイクに関しては右に出るものがない二輪専門誌『モト・チャンプ』編集部員が、アプリオを使って「東海道無給油耐久ツーリング」にチャレンジしました。

午前5時、東京・日本橋をスタートしたモト・チャンプ号は、一路ヤマハ本社のある静岡県磐田市をめざして西へ。冬の箱根越えや3度のミスコースにも負けず、快調に走り続けます。

そして夕方5時45分、磐田市まであ



289kmといえば20日間の実働で1日14.4km、通常の使い方なら1カ月間無給油でも十分

と16kmに迫る掛川市成滝でついにガス欠ストップ。

それでも、実測5.87ℓのガソリンで289kmを走破し、航続距離の長さ48.1km/ℓの好燃費をみごとに実証してみせました。

詳しくは、『モト・チャンプ』誌2月号で紹介されています。(写真・資料提供：モト・チャンプ誌)

昨年、東京モーターショーでペールを脱いだTZM50Rの二輪専門誌向け試乗会が、発売を控えた1月8日、静岡県・つま恋で開催されました。

かつてミニバイクブームを巻き起こしたYSR50の後継車とあって、今回は20媒体80名のプレス関係者が出席。商品性、性能についての技術説明を受けたあと、さっそく市街地とサーキットでの試乗を行いました。

全体の評価は、「とてもおもしろいバイク/レースが楽しみだ」など、期待を裏切らない上々の手応え。特に、「サスペンション効果を中心に足回り、操縦性の良さはバツグン」「自由度が高く、曲がりやすいハンドリング」と、乗り

やすさに高い評価が集まりました。

また、エンジンに関しては「しっかりしたトルク感で加速する」「よく回る。速いよ」など、ライバル車にヒケを取らない力強さが好評。試乗のあと行なった90分耐久レースでは、仕事を忘れて走り回る出席者の姿に、発売後の盛り上がり予感されました。



プレス関係者の期待も高い12インチスポーツ

乗りやすく楽しいスーパー12インチ TZM50Rに熱い期待の声続々!



社内の有志が作った試乗車が、ホンモノのプロジェクに成長して生み出されたTZM50Rは、情熱のカタマリ

中南米は情熱的で熱心！海外出張「オフライ」開催



メキシコシティ郊外には、うらやましいほど大スケールのフィールドが散在、オフ人気はもっと高まりそうだ。

ヨーロッパや北米以外のモーターサイクル発展途上にある国々に、もっとスポーツライディングの楽しさを広めたいと、ヤマハでは本社からインストラクターを派遣。現地法人と協力して、オフロードライディングスクールを行なっています。

そのなかで、昨年11月～12月にかけては中南米へ出張。メキシコ、コロンビアで現地インストラクター講習とユーザー対象の『DT200オフロードライディングスクール』を開催しました。メキシコは初心者ばかり、コロンビ

アは経験者中心でそれぞれ20名ほどの参加でしたが、どちらも反応は上々。自分の順番が待ちきれず勝手にどんどん走り出してしまったり、終了後ももっと乗りたいと訴える人がいたり、お国柄らしく実に情熱的で、楽しく盛り上がりました。

特に、コロンビアの参加者は吸収力が高く、1人しかできなかったジャンプを最後には全員がクリアしてしまうほど。これらの国々が日本に肩を並べるところまでレベルアップするのも、そう遠い日ではないかもしれません。

依然として増え続ける交通事故に対し、なんとか歯止めをかけよう、と、各地方自治体でも民間と協力してさまざまな交通安全活動を展開中ですが、昨年11月、埼玉県交通安全対策協会と埼玉県警察の主催による「東入間地区バイクミーティング'93」もそのひとつ。

二輪車普及協会・埼玉県西部ブロック(南次郎会長/YS P上福岡南)が中心となって企画、運営を担当し、できるだけ多くのライダーに楽しく参加してもらえればと呼びかけたところ、

150名もの参加者が集まりました。

トライカーナ、ジムカーナ、50ccレース、スクーター運動会と盛りだくさんの内容に、会場は大変な賑わいを見せましたが、特に好評だったのがスクーター運動会。パン食い競争やバイク押し歩き競争など趣向を凝らした競技に、参加者も観客も拍手、歓声がとだえませんでした。

今回の大成功を支えた南ブロック会長ほか数名の方々には、後日、地元警察署長より感謝状が贈られています。



企画、運営、競技参加とフル回転で参加したYS P上福岡南のみなさんは、スクーター運動会・ファミリー部門で上位を独占

安全運転の技術を遊びながら学ぶ
埼玉県バイクミーティング大好評

SALES

ついに登場“ゴン”中山！ JOGアプリオ拡販を強カアシスト

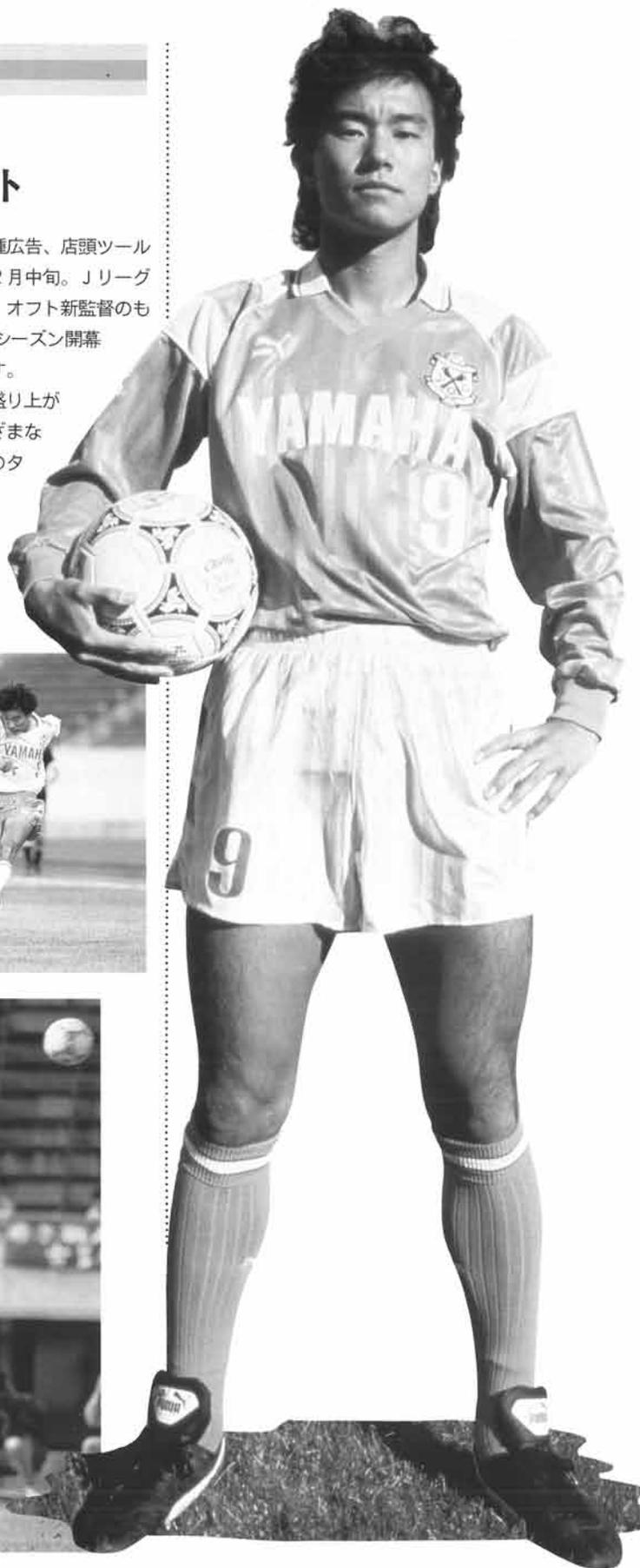
ワールドカップ本選出場こそならなかったものの、サッカー日本代表チーム躍進の原動力となった中山雅史選手(ヤマハFCジュビロ磐田)。

ここ一番に強いバツグンの得点能力とファイティングスピリット、そして底抜けに明るい陽気なキャラクターで、サッカーファンはもちろん、全国のお茶の間の絶大な人気を獲得しました。

そこでヤマハでは、中山選手の持つ個性、知名度、新鮮な魅力に注目。急拠、JOGアプリオのイメージキャラクターとして起用を決定しました。

テレビCFをはじめ、各種広告、店頭ツールに中山選手が登場するのは2月中旬。Jリーグ昇格を果たしたジュビロが、オフト新監督のもと中山選手を擁して挑む'94シーズン開幕戦(3月12日)直前となります。

Jリーグの話題が大きく盛り上がってくる時期だけに、さまざまな相乗効果も期待できる絶好のタイミングといえるでしょう。みなさんの店頭でも、ぜひ“ゴン”のアプリオをよろしくご案内ください。



SERVICE

全国1657店に拡大！ヤマハスター店の技術と信頼、浸透中

Y T S——ヤマハテクニカルサービススター店制度は、ヤマハ車を扱うプロショップとして、お客さまに安心しておまかせいただける高いサービス技術と信頼性をアピールしようと設けたものです。

1987年のスタート以来今年で8年、スター店

●ヤマハテクニカルサービススター店制度

★シングルスター新規認定店のみなさん

●青森 ホンダオートセンター青森 石川自転車店	ライトライダー リーフMC相模ヶ丘 機モトロード
●岩手 セヨシサイクル商会 バイクハウスサカイ モトスペースウィンディ	機斎藤オート上溝店 機オートセンタースギヤマ成田店 街オートワールド 丸富オート販売機戸塚店 丸富オート販売機湘南店 丸富オート販売機藤沢店 八木下サイクル
●宮城 NOVA MOTOR CYCLE いたばしオートショップ いたばしオートショップ塩釜 機早坂サイクル商会 小山輪業商会 平田輪業商会	●石川 松田モーターズ機 ●山梨 KENNY MOTO MC バドック・ジクス
●山形 サイクルショップ佐藤	●長野 トネガワオート機 街小柳商会 ピークルショップタハラ
●福島 機塚本輪業商会 安部輪業商会 菊池輪店 ニホンマツサイクルセンター	●岐阜 スポーツプラザアジア 児玉自転車店
●茨城 プロショップカワタ 南林輪業 オートサイクルヌマさん	●愛知 YOU SHOP河合 J.レーシングプロジェクト 井上サイクル商会
●栃木 モトハウスアスカ 機RCヤマト 街モトボックスむらまつ 街小山ホンダ 岩本利男商店 室井モーターズ バイクショップオオガキ	●京都 YOU SHOPキシト YOU SHOP大西 機久保村モーター 街関西井上商会六角店 林モーターズ
●群馬 YOU SHOPカトウ メカハウスナガヌマ モトショップヨコムロ 機スーパーバイク渡瀬高崎店	●大阪 YOU SHOP KISHIBE YOU SHOPシマダ ON AND OFF 機末広オート 野崎輪業
●埼玉 RABBIT HOUSE オートショップ18 機はとや上尾店 機はとや川口店 機はとや大宮店 機はとや与野店 機バイクハウスZERO PART-1 竹内サイクル オートショップクロス	●兵庫 YOU SHOP太寺 機オートサロンサミ
●千葉 ビッグ京葉 モトランドカジカフ 街高橋オート販売 街袖ヶ浦ホンダ長浦店	●鳥取 YOU SHOP那家
●東京 YOU SHOPヤマノ CGU'S PIT IN 2 ウィンドジャマーズ モト・ギャルソン吉祥寺店 機MSLゼファー 機スズキスポーツ鎌馬 機佐藤クレジットサービスNo.1店 機ベルウッドコーポレーション モーターサイクルメタルドクター モトプラザカワサト	●広島 YOU SHOP神田
●神奈川 YOU SHOPトコイ	●高知 山本涉商会 谷村モーターズ
	●福岡 RIDER'S SHOP WIN 機二輪館フチキ オートショップワークス
	●佐賀 溝口サイクル
	●長崎 オートハウスアツ
	●大分 ニューオートキシ
	●宮崎 飯干輪業
	●鹿児島 機鹿見島 オートショップ産 オリタオートサービス 街大成輪業 指宿自転車商会

の認定を受けられたお店はスリースター22店、ダブルスター609店、そしてシングルスターは今回の新規認定103店を加え1026店、合計1657店にも広がりました。

これからも、お客さまのバイクライフをがっちりサポートする良きパートナーとして活躍ください。

なお、サービススタッフの確かな技術力を培う『ヤマハ二輪車整備士講習会』も各地で開催中です。ふるってご参加ください。

●YTSヤマハ二輪車整備士講習会

月	2月	3月
北海道 ヤマハ	[2M] 3-5	
ヤマハ 東北	[B]	
ヤマハ 東京	[B] [2M] [4M] [2M] [2M] 8-10 15-17 21-22 23-25	[B] [4M] [2M] 15-17 22-24
ヤマハ 中部	[B] [2M] [2M] 8-10 23-25	
ヤマハ 関西	[2M] [4M] [2M] 2-4 16-18 22-24	[B]
ヤマハ 中国	[B]	[4M] [4M] [4M] 2-4 8-10 15-17
ヤマハ 四国		
ヤマハ 九州	[B] [4M] 8-10	[2M] 9-11

B/ベイスック 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター ※都合により、開催変更および中止となる場合があります。また、ベイスックは拠点開催ですので、日程のないものは各営業所へお問合せください。



AD

2月のヤマハ提供番組

■ヤマハON AND OFF

陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数々をご紹介します。

巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選び抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマインドたっぷりにお届けします。

▶ 2月5日<マリン編>

『400回記念スペシャル③日本橋ヨットクルーズ』

▶ 2月12日<バイク編>

『桶川M X 特訓 増田真実さん』

▶ 2月19日<マリン編>

『佐藤延男さんネイチャー・マリンライフ』

▶ 2月26日<バイク編>

『下出鍋一さん40歳エンデューロに挑戦!』

※一部内容が変更となる場合があります。

※一部地域では放送日が異なります。

テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビせとうち、ティー・エックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時。

■オリジナルコンサート 私たちの創った世界

世界各国で精力的に活動を続けている(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子もたちによる自作自演のコンサート模様をお届けします。

日曜の朝をすがすがしく彩る新鮮な音楽の響きをゆっくりとお楽しみください。

テレビ朝日系全国ネット・放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時。

■ぼっくん王国(ラジオ)

ミュージックスタジオM

10代の音楽フリークを対象としたアマチュアリズムたっぷりのラジオ番組です。月曜から木曜まで、曜日ごとに切り口を変えた楽しい企画で、アマチュアバンドを応援します。ニッポン放送他16ネット。

商売の「基本」にこだわる

販売とアフターサービス



接客、商談スペースは店の一番奥。カウンターを中心に顧客管理データ、商品情報などが集中して機能的に整備され、店のスタッフの誰もがすぐに対応できる

技術サービス部門の管理は、すべてカウンター脇の進行状況別に細分された棚で行ない、誰のどの整備は今どうなっているかひと目でわかる



今や個性として確立された「超ツウ」の店づくり

ここ数年、S-Tつまりお店の個性を明確にし、より魅力的な店づくりに役立てようとする動きが活発になってきた。

例えばアウトドアシヨップ風の展示、演出を施してオフロード、あるいはツーリング色を打ち出したり、リボンや花、手書きPOPで店内を飾り、明るいファミリー感覚をアピールする、などはそのひとつだ。

今回伺った『YSP川崎中央』さんの場合は、店頭、店内のあちこちに掲げられたキャッチフレーズ「信頼と技術のYSP バイクはどこまで買っても同じかな? 買って安心大きな保証 バイクを買ったことしかない目で一目瞭然。お客さまが安心してバイクを買い、いつも気持ちよく乗れるようサポートするさまざまなサービス体制がモットーだ。」販売店としてこくあたりまえのことばかりで、何も特別なことじゃないよ」と山崎社長は話すが、そのシステムはまさにかゆいところへ手が届く、徹底したもの。

仮りにA君(25歳)がXR400を買うでしょう。

YSP川崎中央は値引きをしない。が、他店より低金利のローンが使えるため、36回払



YSP川崎中央/山崎正俊社長・神奈川県川崎市

工業都市・川崎の中心地から東名高速・川崎ICに向かう尻手黒川道路沿いに立地。(有)ワイ・エス・ビー・ツーリーの富岡会長から山崎社長が引き継いで3年目、新車販売台数480台を記録した有力店。'93年秋、支店のM's日吉町もオープン。

●店舗：敷地約90坪、建物45坪(ショールーム等15坪、サービススペース等30坪) 屋外展示場(テント)30坪 ●展示台数(新車)：60台 ●客層：社会人中心 ●スポーツ：原付=2:3 ●サービス資格：認証工場、YTSダブルスター



●●●●● 気になるお店づくり ●●●●●

ハローナイスショップ

YSP川崎中央

屋内の展示はスポーツ車がメイン。テント内に比べて、圧迫感を感じさせないようにゆったりした配置を心がける



いて考えると3万円値引きのあるB店より支払い総額は10万円近く安かった。

さらに納車後、A君宛てに1通のDMが届く。納車時に撮ったA君と愛車の記念写真、そして「盗まれちゃった!」「事故っちゃった!」という時どうしたらいいか、要点を記したマニュアルが入っていた。

もしも何かあったら、と考えたA君はまたYSP川崎中央に相談する。保険は傷害、盗難まですべて揃い、出先でトラブルにあったら片道5kmまでは無料出張引取り、どんな遠くても一報入れれば必ず何とかしてくれると言われ、そのために店は年中無休。日常の整備、点検も、認証工場、YTSダブルスターの資格を示されて安心。代車だって常時5台を確保している——といった具合だ。

ひとつひとつを取れば、その目を引く華やかな活動ではないが、その蓄積が4~5年前240台だった年間の新車販売台数を'93年には480台にまで伸ばした原動力といえよう。「超フツウの店づくり」は、今や確固たる個性なのだ。

必要なことを見過(り)せず いざとなればトコトンやる

ほかにも細やかな気遣いが多いが、なかにはそれが相当な資金を必要とする場面もあった。'92年3月に行なった店舗増改築だ。「これまで、30坪たらずの建物と、簡易テントの店だったんです。でも、それだと売りのバイクやお客さんから預った愛車が傷つきやすい。それで思いきって2000万円ほどかけてやっつたんです。お金? ほとんど借金(笑)。賭けてですよ、ほんと」と

こうして、30坪ほどの頑丈なトーム型展示場と約45坪の新店舗が完成した。

しかし、改装を機に観葉植物などを飾り、



陸運局の整備認証を受けたのは、'93年7月。「機材も人材もそろっていたから問題はスペース確保と根回しだけ」申請の準備を始めてから認可がおりるまで、4~5カ月で済んだ

整備後は必ずスチーム洗車とワックスがけを済ませて納車。スチーム洗車機は、来店客にも気軽に解放する

